

公表

事業所における自己評価総括表(放課後等デイサービス)

○事業所名	ののほな港南		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		2026年 3月 27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	64	(回答者数) 45
○従業者評価実施期間	2026年 3月 3日		2026年 3月 17日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童指導員・保育士に加え、SSTスキルを持つ職員が在籍しており、子どもの発達段階や特性に応じた支援を行っています。放課後等デイサービスとして、学校生活や集団生活とのつながりを意識した支援ができる体制となっています。	専門的な視点を日々の関わりに落とし込み、実際の生活場面に近い形で支援を行っています。 子ども一人ひとりの特性に応じて関わり方を調整し、無理なく社会性や自己理解を深められるようにしています。	専門的支援の質をさらに高めるため、研修や職員間の共有機会を増やし、より実践的な支援につなげていきます。
2	保護者との連携を重視し、日々の活動や子どもの変化を丁寧に共有しています。 安心して預けられる環境であることに加え、子どもの成長が見える支援を意識しています。	提供記録を充実させるとともに、写真やオンラインツールを活用し、視覚的にも分かりやすい形で情報を共有しています。 家庭でも子どもの様子がイメージできるよう工夫しています。	保護者向けの相談会や勉強会を実施し、家庭での関わりにもつながる支援を強化していきます。
3	職員間の情報共有が日常的に行われており、一貫性のある支援が提供できる体制が整っています。 担当職員が変わっても支援の方向性が大きくブレないことが強みです。	専用システムやスプレッドシートを活用し、支援内容や気づきをリアルタイムで共有しています。 提供記録と支援計画を紐づけて確認することで、日々の支援に一貫性を持たせています。	全体ミーティングに加え、チームミーティングの機会を増やし、より細かな共有と連携の強化を図っていきます。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会が未開催であり、施設の状態を直接伝える機会が十分ではありません。	日々の療育提供を優先する中で、時間や準備の確保が難しい状況でした。	活動報告を兼ねた保護者会を開催し、情報共有の機会を確保します。 また継続的に実施できる形を検討していきます。
2	職員一人あたりのプログラム担当数が多く、準備と日々の支援の両立が負担となっています。	役割分担や業務整理が不十分であったことが影響しています。	チームでプログラムを検討・作成する体制へ移行し、業務の分散と効率化を図ります。 支援の質を維持しながら無理のない運営を目指していきます。
3	地域との交流機会が少なく、外部との関わりが限定的となっています。また、地域に開かれた運営が十分にできていない状況があります。	安全面や既存利用児童への対応を優先し、外部との関わりを広げる余裕が少なかったためと、立地や時間の制約に加え、安全確保の観点から慎重な運営となっていました。	関係性のある事業所との交流から段階的に広げ、無理のない形で地域との接点を増やしていきながら、地域イベントの開催など、事業所の特性を活かした形で地域との関わりを増やしていきます。